

令和5年度 ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立西日登小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1・2	生活	にしひのぼりについて しろう つながろう ひろげよう かか わろう	地域住民（地域で働く人々） 木次図書館
	ねらい	地域にある場所や地域で働く人、地域で暮らす人について知り、自分たちの生活とのつながりや地域の人々の思いに気づくとともに、地域の場所や人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする事ができる。	
<p>1 取組の概要</p> <p>1) 地域のお店や名所について町探検で訪問する。</p> <p>2) 町探検で分かったことや、そこで働く「ひと」の思いを新聞にまとめる。</p> <p>3) さらに調べてみたい場所に町探検に出かける。</p> <p>4) 町探検で分かったことや、そこで働く「ひと」の思いを新聞にまとめる。</p> <p>5) 町探検で見つけた「まちのすてき」を学習発表会で発表する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>1) 「ふるさとのよさ」を伝える場の設定 自分たちが町探検で見つけたことや分かったこと、そこで働く「ひと」の思いを新聞にまとめるとともに、「ふるさとのよさ」を伝える場として、にしっ子発表会で発表することで、ふるさとへの愛着や誇りを高めることができるようにする。</p> <p>2) 「ひと」「もの」に意図的に関わらせる 低学年として、まずは地域を知ることが必要であると考え、知っている「もの」について見学したり、地域の「ひと」と関わる機会を作ったりすることで、「ふるさとのよさ」を実感的に捉えることができるようにする。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>1) 町探検を通して「ふるさとのよさ」に気づき、学ぶ意欲の向上を目指す 町探検に出かけ、西日登のまちについてより知ることで、この地域のよさ、すばらしさへの理解を深める。</p> <p>2) 子どもたちの表現力の向上をめざす 町探検での地域で働く「ひと」との対話を通して、自分の分かったことや聞きたいことを伝えることができるようにする。また、町探検で分かったことや思ったことを、新聞にまとめたり、国語科の学習と関連づけて作文を書いたりすることで、自分の思いを表現できるようにする。</p> <p>3) 「ふるさとのよさ」を発信する方法の工夫 町探検で聞いた話や見て分かったことの中から、伝えたい内容を吟味して新聞にまとめることができるようにする。また、地域への発信方法として学習発表会を案内し、町探検で感じた「ふるさとのよさ」を伝えることができるようにする。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>1) 学習後の感想やお礼の手紙、新聞にまとめた記述の中から、あるのは知っていたけどどこか分かっていなかった場所が、「ふるさとのよさ」として認識し、地域への興味・関心をもつ</p>			

子どもが増えた。

- 2) 町探検で出かけたお店や、そこで分かったことなどについて、学校の他の教職員や家庭でも話す姿が見られた。

(学力育成の視点から)

- 1) 地域で働く「ひと」へのインタビューで、話の流れに沿って質問したり、目を見て話を聞いたり、大事なことを記録したりするなど、話すこと・聞くことの能力の向上につながった。
- 2) 町探検で出かけた場所を新聞にまとめる際に、行っていない人にも分かるようにまとめようと意識する姿が多く見られた。
- 3) 次の町探検を楽しみにしたり、進んで質問したりするなど、主体的に地域について知ろうとする姿が見られた。

4 課題や今後の展望

- 1) 発表会に地域の方にも来てもらえるようチラシを配布したが、さらに地域の方に子ども達がまとめた「ふるさとのよさ」を知ってもらえるような機会を作っていきたい。
- 2) 地域で働く「ひと」として、お店や公共施設がなかなかないのが本地域の現状である。そのなかで、地域の教育資源の発掘が今後の生活科における学習活動に大きくかかわってくるので、地域資源のさらなる発掘を目指していきたい。

